V.G 槻輪（きりん） だより

会　報　　第１６９号
発行日　平成３０年１０月１日
発行・編集　**V･G 槻 輪**
代表者　大 岡 成 一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介

下町情緒あふれ住みやすさは抜群のまち　豊中市庄内幸町

大阪音楽大学　楽器資料館見学

6月18日に北摂地域を震源とする震度6弱の地震が襲い、その後7～8月と梅雨前線が停滞し大雨に襲われ、9月4日には台風21号が大阪地方を直撃しました。

地震で緩んだ、屋根瓦を吹き飛ばし、ベランダや駐輪・駐車場の屋根を吹き飛ばすなど被害のない家は無いくらいの大災害が発生しました。

このような時期（15日）に、多くの方が阪急庄内駅に集合し、大阪音楽大学楽器資料館を訪問しました。

資料館では、大阪音楽大学音楽資料館の学芸員大梶晴彦先生に、本当に長時間、わかり易く説明をして頂きました。

有難う御座いました。

資料館は部屋ごとに展示の内容が違い、最初の部屋には、日本の楽器が展示されています。

雅楽の楽器類
各楽器の説明を聞く

雅楽（ががく）は、日本で花開いた伝統的な音楽の一つで、世界最古のオーケストラと言われます。宮内庁式部職楽部に伝わる日本の雅楽は、重要無形文化財でユネスコの無形文化遺産に指定されています。

雅楽では笙（しょう）などの管楽器、琵琶（びわ）などの弦楽器、太鼓などの打楽器が使われます。それらのリズムを合わせるために鞨鼓（かっこ）は細いバチで打ち、楽曲のリズムを誘導する指揮者の役目を担います。

打楽器を打って拍子を取ることを現在の「打ち合わせ」の語源と言われ、打ち合わせは「物事がうまく合うようにする」といった意味になります。言葉には、音楽のことばが語源になっているものが多いと説明がありました。調べてみると本当に多いです。

生まれが明確な楽器は
サクソフォンだけ

ピアノのある部屋では、それぞれ時代別の（時間の都合で代表の3台）ピアノで、モーツァルトらが創作活動を行った時代様式のオリジナルピアノを演奏して聴かせて頂きました。

最初の計画では、説明を1時間の予定でしたが、先生が1時間半に延長して下さいました。でも全然足りないくらい楽しい時間でした。

大阪音楽大学

明治39年東京音楽学校出身の永井幸次が大阪府立清水谷高等女学校（現・大阪府立清水谷高等学校）に赴任され、在職中に計21回の音楽会を開いたほか、大阪市内の小学校教諭らと勉強会「七声会」を結成し、大阪における音楽教育の中心人物の一人として活動された。

大正4年永井幸次先生が「新音楽新歌劇ノ発生地タラン」と大阪音楽学校を創立されました。

その理念を脈々と受け継いで、今では大学、短大、大学院を擁した関西唯一の音楽単科大学です。クラシックだけでなくジャズ、ポピュラー、邦楽といった専攻・コースを設けるなど、一人ひとりの個性と時代のニーズに応えた教育を行っておられます。

大阪音楽大学音楽メディアセンター　楽器資料館

昭和42年4月に楽器資料室開設。平成14年4月に音楽研究所・楽器博物館を統合して音楽博物館となる。

平成29年4月に100周年記念館の3階に移転し、大阪音楽大学音楽メディアセンター 楽器資料館として生まれ変わりました。

大阪音楽大学の教育施設の一環として、授業や研究に教室として活用されています。

所蔵楽器など約二千点のうち、千四百点を常設展示しています。また、楽器に関する書籍も閲覧できます。

展示室は日本の伝統楽器、ヨーロッパの楽器、世界各地域の楽器を3つの部屋に展示しています。

日本の伝統音楽は大阪、奈良、京都を中心に日本各地へ広がりました。数々の伝統音楽・芸能に用いられる楽器の展示は、わが国屈指の規模を誇ります。雅楽、能楽、琵琶、近世邦楽の箏、三味線、胡弓、尺八、また祈りの場や芸能に用いる音具などを一堂に見ることができます。

楽器資料館で記念撮影

日本の伝統工芸である象嵌、螺鈿、蒔絵など楽器に施された精緻な装飾を楽しむこともできます。大阪音楽大学建学の精神に基づき、日本の音楽文化資産を大阪の地から世界に発信しています。

２０１８年１０月度行事予定

京都市中心部、歴史的建造物とともに現代を生きるまち

京都市上京区：同志社大学キャンパス・新島旧邸

月　　日：2018年10月18日（木）
集　　合：京都地下鉄今出川駅南改札出口　集合
内　　容：同志社大学今出川キャンパス・新島旧邸
その他：1）小雨決行
　　2）詳細は別途配布資料を参照下さい。

２０１８年１１月度行事予定

大阪を代表するまち：天王寺区

茶臼山天王寺公園散策・天王寺美術館見学

月　　日：2018年11月15日（木）
集　　合：天王寺公園入り口付近で集合
内　　容：茶臼山天王寺公園・大阪市立美術館
その他：1）雨天中止（前日18時に決めます）
　　2）詳細は別途配布資料を参照下さい。